

デジタルマーケティングの強化と そのための人材育成

今後の市場を見据えれば、必須と言えるITやSNSを活用したマーケティングの強化に向け、担当者のおよび相談役として伴走支援。担当者の主体的な取り組みをフォローし、モチベーションアップにつなげた。

▼ 取り組み内容

Step 1
現状把握

SNSの運用などを担当している2人の社員にヒアリングし、従来の仕事のやり方や社内の環境を把握。

Step 2
伴走・助言

Step1を踏まえ、2人の担当社員が取り組みたいことを引き出し、専門的な知見からアドバイス。

Step 3
データ収集・対策

SNSの運用状況やその効果についてデータを収集し、そのデータを基に改善策や新たな取り組みを実施。

Step 4
検証・ブラッシュアップ

Step3で実施した改善策や新たな取り組みの効果を検証し、さらにブラッシュアップ。

受入企業

正栄産業 株式会社

代表取締役社長 森藤 正浩 さん

1997年に創業。デザイン性と建物としての基本性能、価格の3要素が高いレベルでバランスの取れた住まいを提供するハウスメーカー。住宅にとどまらず、インテリアショップ、不動産会社、介護事業、飲食事業など幅広く事業を展開しており、お客様の暮らしを長きにわたってサポートできる体制を整えている。

協力研究員

山本 大輔 さん

大阪府出身。高校卒業後、独学でウェブデザインを勉強し、ECサイトを制作する企業数社で勤務する。前職ではウェブデザインだけでなく、商品説明文の作成から販促計画の立案までを含めたECサイトの運用、バックヤード業務用システムの企画から運用、保守までを一貫して手掛けた。

富山“Re-Design”ラボ 事例

CASE:

次代を見据えた
マーケティングの
強化と人材育成



取り組みの成果
・
今後の取り組み

- ・Instagramの投稿内容や反響を一週間ごとに振り返るミーティングを実施し、次の投稿時の改善につなげた。業務を作業としてこなすのではなく、ブラッシュアップする意識が社員に芽生えた。
- ・営業の協力を得て、集客時の認知経路を調査した。その結果、一番多かったのがInstagramで、更新担当者の会社への貢献度が明らかとなり、モチベーションアップにつながった。
- ・「次はユーチューブを使って情報発信をしたい」など、社員から自発的な声を聞けるようになった。

受入企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・今後、労働市場で増えてくるZ世代とミレニアル世代を顧客として取り込むには、デジタル技術を活用したマーケティングが必須です。従来、社内にその分野でノウハウのある専門人材は不在でしたが、外部人材の力を借りて、内製化に向けて道筋を付けたいと考えました。

評価（成果・社内変化など）

- ・従来、SNSを使った販促活動やITツールの活用は2人の社員が担当していました。2人には上司がいなくて、山本さんが加わることで、専門的な内容について相談できるようになり、心強かったと思います。仕事のやり方を見直し、自分たちの仕事の意義を再認識するいい機会にもなり、2人からは「働きやすくなった」との声を聞いています。
- ・その人材がどのようなスキルを持っているか、あるいはどのような価値観を持っているかはある程度一緒に働いてみないと分かりません。その点、本プログラムでは会社も研究員もお互いを見極めた上で次のステップに進むことができるのが魅力的です。ぜひ次年度も別のテーマで参加したいと思っています。

今後の関わり方

- ・この半年間でいいスタートを切ってくれましたし、これからも一緒にやっていける人材だと思えたので正社員としての入社をオファーし、快諾を得ました。ITを活用したマーケティングや業務改革の中心メンバーとして頑張ってもらいたいと期待しています。

協力研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・コロナ禍をきっかけに都市部で働くメリットを感じなくなり、地方に移住したいと考えるようになりました。情報収集する中で、本プログラムを知り、企業での仕事と大学での学びがセットになっているところに魅力を感じ、応募しました。

評価（取り組み・生活）

- ・SNSを使った販促活動やITツールの活用を担当する2人の社員に現状を確認した上で、やりたいことを確認し、その実現に向けたフォローをするようにしました。この際、こちらからの押しつけではなく、主体性や自主性を引き出すことを意識しました。短い期間でしたが、社員のモチベーションアップにつなげることができたと思います。
- ・大学ではさまざまな学びがあり、刺激的でした。多様な経歴を持つ研究員から各社での取り組みを聞いたり、議論を交わしたりする時間も有意義で、その議論が会社に戻って役立つこともありました。
- ・富山でも都市部に住んでいるので生活面では大阪時代と大きな変化はありません。ただし、車がないと不便なこともあり、購入しました。

今後の展望

- ・1月からは正栄産業の正社員として働き、建築事業部企画戦略室室長を務めます。自身の知識や経験を生かしていくのはもちろんですが、会社は多角経営をしていますので、新しいことにもチャレンジできれば、さらに楽しく働けると考えています。